

ヤングアダルト通信

VOL.137号 (2016.9)
(発行:碧南市民図書館 0566-41-0894)

大好き♡



おじいちゃん おばあちゃん

『西の魔女が死んだ』 (YFナ)

梨木 香歩/著 楡出版

「西の魔女」とは、中学生の少女まいの、イギリス人の祖母のこと。学校へ行けなくなったまいは、祖母のもとで、何でも自分で決められるようになる「魔女修行」をすることに…。

数々の文学賞に輝き、20年以上にわたって読み継がれる、ハートフルな名作。

『エミリーへの手紙』 (Y933エ)

キャムロン・ライト/著 日本放送出版協会

エミリーは無口なおじいちゃんが好きだった。そんなおじいちゃんが、1冊の詩集を残して死んだ。詩の1つひとつには謎があった。エミリーへの手紙を開封するためのパスワードが隠されていたのだ。頑固なひとりの老人が、残していく者たちに伝えたかった人生の真実とは？

「敬老の日」にちなんで、すてきなおじいさん、おばあさんが出てくる本を、ご紹介します。

『夏の庭』 (YFユ)

湯本 香樹実/作 福武書店

「人が死ぬ瞬間が見たい」。

3人の少年が「もうじき死ぬんじゃないか」と噂されているひとり暮らしのおじいさんを見張ることに。少年たちの「観察」は、やがておじいさんとの深い交流へと姿を変え始める…。

喪われゆくものと決して失われぬものに触れた少年たちの、忘れがたい夏の物語。

『夜間中学へようこそ』 (YF ヤ)

山本 悦子/作 岩崎書店

おばあちゃんが私と同じ中学一年生！？
孫の優菜は、ひょんなことから祖母とともに夜間中学へ通うことになった。そしてそれは、かけがえない日々の始まりだった…。
どうして勉強するのか。なぜ学校へ行くのか。
いま注目の夜間中学を舞台にした、感動の物語。

『ユミとソールの10か月』 (Y933 ユ)

クリスティーナ・ガルシア/著 作品社

学校のオーケストラとパンクロックとサーフィンをこよなく愛する日系少女ユミ。大好きな祖父のソールが不治の病に侵されていると知ったとき、ユミは彼の口からその歩んできた人生の話を聞くことにした…。

『だいじょうぶだいじょうぶ』 (YE イ)

いとう ひろし/作・絵 講談社

「だいじょうぶだいじょうぶ」。
小さなぼくが不安な気持ちになると、いつもおまじないの言葉で助けてくれたおじいちゃん。
そしてぼくが大きくなったとき、としをとったおじいちゃんに言ってあげた…。
生きていくためのしなやかな強さを育む、心にしみる絵本。

『おばあちゃんが、くれたもの』 (Y914 ナ)

なかむら みつる/著 青春出版社

「大きな愛でぼくを包んでくれたおばあちゃんは、いつでもぼくの味方だった」。
おばあちゃんといっしょにいた23年間。ポップアーティスト「みづゝ」の原点が、ここにある。
おばあちゃん子も、そうでない人も、笑って泣ける癒し系エッセイ。

『おはなしちびまる子ちゃん 1-10』 (Y912 オ)

さくら ももこ/著 集英社

国民的人気アニメ「ちびまる子ちゃん」をシナリオ仕立てにした、新感覚・読む「ちびまる子ちゃん」！
まる子と大の仲良し、祖父「友蔵」は、やさしくてかわいくて俳句も詠める、とってもチャーミングなおじいちゃん。

『いじわるばあさん 1・2』

(『長谷川町子全集 24・25』) (Y726 ハ)

長谷川 町子/著 朝日新聞社

国民的マンガ「サザエさん」に次ぐ、長谷川町子の代表作。頭にくるけどなぜか憎めない異色のキャラクター、いじわるばあさんこと伊知割石。「一日一いじわる」をモットーに、家族から通行人にいたるまで、あらゆる人にいじわるを仕掛ける！

『自分が好きになっていく』

(Y375 シ)

五木田 勉/文・インタビュー

高塚 人志/監修・写真 アリス館

高校生と園児と高齢者と…。

継続的な人間関係づくりに取り組む、鳥取県の県立高校。

保育園の園児や高齢者施設の利用者と、長期間1対1でかわるこ
とで生まれた人間回復ドキュメントを、写真とインタビューで綴る。

担当者より

「ちびまる子ちゃん」の作中で、まる子と友蔵じいさんは仲良しですが、作者のさくらももこ曰く、実際の友蔵さんは「ズルくてイジワルで急げ者で、嫁イビリはするし、全くろくでもないジジィ」だったそうで（エッセイ『もものかんづめ』Y914 サ より）、この容赦ない書きっぷりに圧倒されました。やるなあ、さくらももこ…。